



ヒューレ通信

第13号 (2026年1月)

人権啓発の英語表記「human rights enlightenment」(ヒューマン ライト エンライトメント)の頭文字「hure(ヒューレ)」をとって「ヒューレおおいた」としました。

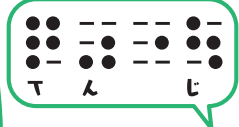
ヒューレおおいた (人権啓発センター)

開館時間 午前9時～午後6時
休館日 第2・第4月曜日
大分市金池南1丁目5番1号
J:COM ホルトホール大分 1F
TEL 097-576-7593
FAX 097-544-5708



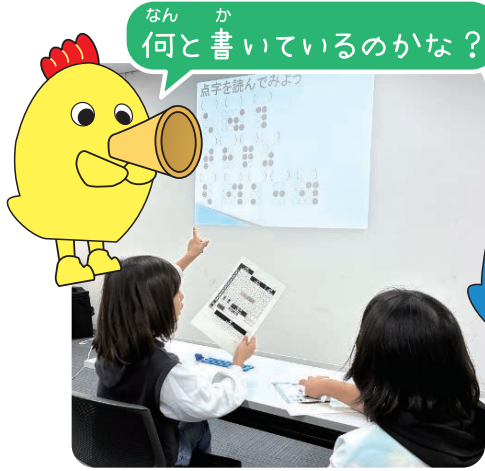
キッピー スタン ナビー
大分市人権イメージキャラクター
「キズナーズ」

指で読む言葉「点字」



点字とは、視覚障がい者が、読んだり書いたりするための文字です。6つの点の組み合わせで文字や記号を表し、指先で触ることで読み取ります。点字はタテ3点、ヨコ2点の合計6点を1マスとして構成されています。すべて横書きで、左から右に向かって読みます。

ヒューレおおいたでは、今年度から点字の体験活動を始めました



何と書いているのかな？

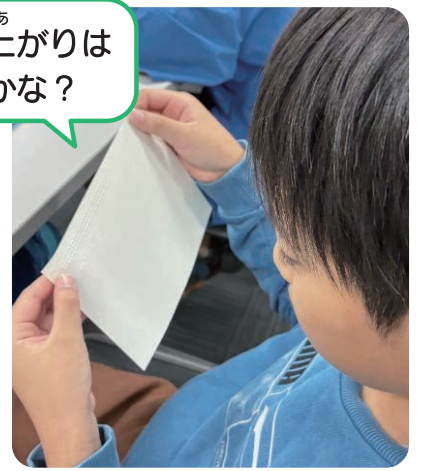


目をつぶって、指先だけで触って読むのは、想像以上に難しいね

指で触って確かめます



実際に点字を打ってみます



でき上がりはどうか？

点字を完成させた人

点字は、フランスのルイ・ブライユが完成させました。彼は、夜間でも触って読める暗号を改良し、現在の6点点字を完成させました。日本の点字は、石川倉次がルイ・ブライユの点字を基にし、日本語に合うように考案し1890年11月1日に正式に採用されました。これを記念して11月1日は日本の点字記念日となっています。



ルイ・ブライユ



石川倉次

点字を打つ道具

点字を打つための主な道具は、
・点字板(点字用紙と点字定規を固定するための土台)
・点字定規(6点の穴があり、点を打つためのガイド)
・点筆(点字用紙に点を打ち込むための筆記具)
この三つになります。これらを合わせて「点字器」と呼びます。



点字板



点筆

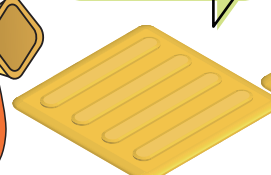


点字ブロックは日本生まれで、世界に普及していきました!!

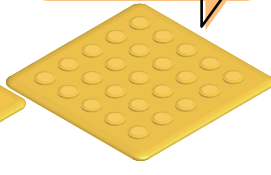
目の不自由な人に欠かせない点字ブロックは、岡山県出身の三宅精一氏によって考案されました。目の不自由な友人が普段の生活に不便を強いられていることを知り、「道路に足で踏んで確認できるものがあればわかる」という言葉からヒントを得て、点字ブロックが生まれました。1967年3月18日、岡山県立盲学校近くの国道に世界で初めて設置されました。2012年には、国際規格も定められました。

まっすぐ進んでください

ここで立ち止まって注意してください



誘導ブロック



警告ブロック



三宅精一



障がい者のための国際シンボルマーク



視覚障がい者のための国際シンボルマーク

知っていますか？ バリアフリーに関するサインやシンボルマーク

バリアフリーに関する様々なサインやシンボルマークがいろいろな場所で使われています。見たことがある人も、多いと思いますが、それぞれのサインやシンボルマークの意味を理解していますか？意味を知って心のバリアフリーを広げましょう。



ベビーカーマーク
安心して利用できる場所や設備を表しています

ほじょ犬マーク
身体障がい者補助犬同伴の啓発のためのマークです



ヒューレおおいたにきてみませんか

大きなキズナーズが待っているよ



学校からのおたより、ありがとうございます



特別展示は、毎月テーマをかえて掲示しています



小学生向きの本も置いています

シルエットクイズ

わたしはだれでしょう？



〇〇-